

助産師レター

滋賀県看護協会助産師職能委員会 VOL. 34 平成 29 年 4 月

風の冷たさも少し和らぎ、小さな草花の芽が顔を出す季節になりました。新年度が始まりお忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、皆さん体調管理には十分お気を付けくださいね。

助産師職能委員会は新たな意気込みで今年度も頑張っていますので、今年度もよろしくお願いいたします。

職能委員長報告

全国助産師職能委員長会報告

◆職能委員長より

平成 29 年 3 月 3 日（金）平成 28 年度 第 2 回全国職能委員長会が、TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターで開催されました。福井理事の報告の中で、重点政策 2-2 にあります「包括的母子保健推進における看護機能の強化」について、地域で母子支援をしていくために助産師がどう動いていけば良いか？看護職間でどう連携していくべきか？を強調されました。地域包括ケアシステムは高齢者だけではありません。子育て支援と周産期医療、虐待予防、産後ケアなど私たちが専門性を発揮するときです。県下の助産師の皆さんと、妊娠期から子育て期まで対応できるネットワーク作りをしていきましょう。

また第 2 回 CLoCMiP レベルⅢ認証審査では 5440 名が合格されました。滋賀県は 67 名で、第 1 回の 118 名と合わせ、県下で 185 名がアドバンス助産師として認証されました。2017 年はこの 2 年間の評価と更新に向けた要件整理をされ、次回は 2018 年に第 3 回が実施されることになります。

29 年度もよろしくお願いいたします。<m(_)_m>
(委員長：吉岡千晴)

平成 28 年度助産師職能集会・研修会

平成 29 年 1 月 7 日（土）
滋賀県看護研修センター

午前は廣原恵子滋賀県看護協会会長より「地域包括ケアにおける助産師に求められる役割」など次年度の看護協会の取り組みに向けてのご挨拶をいただきました。助産師職能委員より本年度の活動報告後、

「助産師を育てる～基礎教育、継続教育の立場から～」をテーマに講義、グループワークを行いました。聖泉大学 井上佳子先生からは基礎教育の立場から、大津市民病院 川島もと子先生からは現場教育の立場から講義をしていただきました。各施設での現状報告、グループワーク発表を行い活発な意見交換が行われました。

午後からは「母体急変時の初期対応」をテーマに済生会滋賀県病院 産婦人科主任部長 喜多伸幸先生に講義をしていただきました。近年の母体死亡の背景、実際に社会的問題になったケース、産科危機的出血の対応や産科的 DIC の病態生理など多くの事例と体験を元に、さらにユーモアも織り交ぜながらの講義で、3 時間があっという間に感じるほどのとても濃密な内容でした。



(委員：角山尚美)



第26回滋賀県母性衛生学会 学術集会

平成 29 年 1 月 29 日 大津赤十字病院 小講堂

今年は総合テーマ「不妊治療と周産期医療」で開催されました。一般演題は多様なテーマで9演題の発表がありました。いずれも大変興味深い内容でした。滋賀県助産師出向支援事業協議会からも実践報告として滋賀県における助産師出向システムの現状と課題について、聖泉大学看護学部の木村知子先生から2年間の実際の紹介と成果や課題についての発表がありました。29年度も助産実践能力の強化を目的に施行される予定です。この件に関しては、助産師職能委員会も参画し、成果を実感しているところ です。

会長教育講演では、大津赤十字病院第一産婦人科佐藤幸保部長より「体外受精によるリスクについて」と題して、滋賀県総合周産期母児医療センター周産期部門のチーフとしての4年間の取組みについての講演がありました。小雪混じりの寒い中 108 名と大盛況でした。助産学生の皆さんにも、協力をいただき感謝いたします。

29年度は、湖南・甲賀ブロックが担当になっております。テーマが決定しましたら演題募集もされます。ご協力よろしくお願ひします。



(委員：塩成子)

らは大石時子先生による「助産師のためのフィジカルアセスメント」を受講しました。

《新人・中堅・エキスパート助産師合同研修》

平成 28 年 2 月 27 日(土) 閉講式

新人 15 名、中堅助産師 2 名 エキスパート助産師 1 名が受講しました。午前中に受講生たちの合同評議会があり、自分たちの学びや次年度への抱負などの発表がありました。新人助産師は日々の業務に追われながらも学びの多い1年であり、課題も明確になり、これからの成長に期待したいと思います。中堅・エキスパート助産師もそれぞれの施設での学びがあり、助産師としてこれからのますますの活躍に期待がもてる発表でした。

午後は、みづき助産院 院長の神谷整子先生による基調講演「今、求められる助産師のスキルとは」神谷先生の助産師としての日頃の実践から思いや考えが存分に語られました。講演の中で妊娠中の継続したかわりから妊産婦の主体性が引き出され、自己管理能力が高まること。それがよりよい育児の第1歩につながることである。また妊婦健診こそ正常産を担う土台となることを話され、助産師としての妊産婦への思いやりをもち、根拠をもった実践能力を向上させていくことが必要だと感じました。今回の講演は公開講座であり、県下から8名の受講生が熱心に聴講しました。日頃の助産実践に役立つ意義深い研修でした。



(委員：川島もと子)

平成28年度 助産師キャリアアップ 応援事業研修

《中堅・エキスパート助産師研修》

平成 29 年 2 月 18 日(土)

滋賀医科大学医学部付属病院 4階 第4会議室

臨床助産教育として「新人助産師・後輩教育」について研修委員による講義を行ないました。午後か

